

「社会科見学を振り返って」

5年 山崎幾月さん

ぼくは、1月20日に北本市にあるグリコピア・イーストと川口市にある映像ミュージアム(S K I Pシティ)に社会科見学に行きました。そこで、実際に見たり聞いたり、体験したりして、たくさんのことを学べました。

まず、グリコピア・イーストに行ってみたことは、作っているおかし一つ一つに様々な工夫がされていることです。プリンツやポッキーがおいしく同じように作っているところが工夫されていると思いました。

また、グリコのおかしの箱におもちゃをつけるという発想はすごいなと思いました。ぼくは、グリコを買ったことがなかったのですが、今度買ってどんなおもちゃがついてくるか見てみたいなと思いました。

次に、S K I Pシティではスタジオ収録の体験をしました。ぼくは、カメラマンの担当をしました。やる前は簡単だと思っていたけれど、実際にやってみるととても難しかったです。そして、他にもたくさん役割があつて、映像を作るためにはど

の役割も欠かせないということが分かりました。

今回、社会科見学に行つてみて、普段の学校の学習では分らないことや体験できないことが、実際に分かったり体験できたりしました。この社会科見学で学んだことを、社会科の学習や普段の学校生活に生かしていきたいです。

「むしたちのぼうけん」

1年 清水美空さん

学校であげはちょうを見つけて、かわいかったので、ちょうちょうがいっぱいいる絵をかきました。ちょうちょうのぼっているところがじょうずにかけました。



市長コラム
「価値ある未来を、共に」



問合せ

政策室

☎982-5112 FAX981-5392

障がい者の地域での生活を考える検討会議

▼4年ほど前、当事者、家族、支援団体、学校、行政などが集まる「障がい者の地域での生活を考える検討会議」を立ち上げ、「障がい者の就労と住まい」を主なテーマとして、意見交換や視察、市内すべての障がいを持つ方々へのアンケートなどをこれまでに行ってきました。昨年度には「障がい者就労」と「グループホーム」についての提言書がまとめられ、今年度からは参加メンバーも変わつての第二期「検討会議」がスタートしています

▼そうした中、保護者から市に寄せられた寄付金を基に「ノブくんスマイル基金」が、障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金」を設立し、「検討会議」の皆さんにご協力いただきながら、その基金を活用しての「障がい者就労支援」と「グループホーム整備支援」の体制を整えています▼しかし、この「吉川市独自の基金と支援体制」も多くの方々の協力がなければ前進しません。まず「基金」は、関

係者のみならず、多くの市民の皆さんからのご厚意によって成り立っています。そして「障がい者就労支援」においては、雇用を推進してくださる地元企業や就労をサポートしてくださる支援員さん、「グループホーム整備支援」においては、グループホーム事業を展開してくださる社会福祉法人や地域の方々も不可欠です▼先日、「障がい者就労の充実」もテーマとして、商工課と障がい福祉課が連携して行った「吉川市合同就職面接会」は、障がいをお持ちの方々、そして障がい者雇用を進める地元企業の方々が多く参加していただき、充実したものとなりました。今後さまざまな分野・立場の方々と共に、障がいを持つ方々への支援を推進してゆきますので、多くの皆さんのご理解、ご協力をよろしく願います。



「ノブくんスマイル基金」問合せ：障がい福祉課 ☎982-5112 FAX981-5392